



まちづくりニュース

発行：東村山市まちづくり部 都市計画・住宅課

第7号（令和5年4月）

第2回 地域勉強会 を開催しました！

第2回地域勉強会を以下の内容で開催し、スポーツセンター周辺で活動されている事業者等の皆さまにお集まりいただきました。

1. 第2回地域勉強会の実施概要

第2回地域勉強会では、魅力創造核の形成に向け、第1回の振り返りやまちづくりのイメージについて皆さまと情報共有を図ると共に、まちづくりの課題について意見交換を行いました。出席された方々からは様々なご意見をいただきました。（いただいたご意見は裏面で紹介しています。）また、令和5年度以降の予定についても共有させていただきました。

【日時・場所】

- 日時：令和5年3月24日（金）18：00～20：00
- 場所：スポーツセンター 2階 大会議室



【地域勉強会の内容】

- 地域勉強会について
⇒改めて、地域勉強会の目的についてご説明しました。
- 魅力創造核（スポーツセンター周辺）の将来イメージについて
⇒第1回地域勉強会での皆さまの意見を基に「農と食による交流拠点」、「スポーツによる交流拠点」、「地場産業による交流拠点」の将来イメージを整理しました。また、他市の参考事例の紹介等を行いました。
- まちづくりの課題
⇒交流・にぎわいを創出する上での問題・課題について整理し、皆さまと意見交換しました。
- 今後の予定について
⇒地域勉強会の継続と検討の発展イメージについて説明しました。

ご参加いただきありがとうございました！



2. 意見交換でいただいたご意見

意見交換では交流・にぎわいの創出を進める上での課題や制約について話し合いました。皆さまからいただいた主なご意見は以下のとおりです。

【課題①】 既存施設・スペースの柔軟な活用

- ・オープンな場とすることと安全確保の両立が大切ではないか。
- ・高校生との交流などを通じて、若い世代のアイデア・意欲を取り込むことが未来を創るのではないか。
- ・スポーツセンターの会議室等、スポーツに限った制限はないので多目的に活用することが可能ではないか。
- ・スポーツセンターではeスポーツの体験会・大会やマルシェ等が開催されている。
- ・特にeスポーツについては若者の関心も高く、多様な産業への波及も期待される。

※ eスポーツ…「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム等を使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

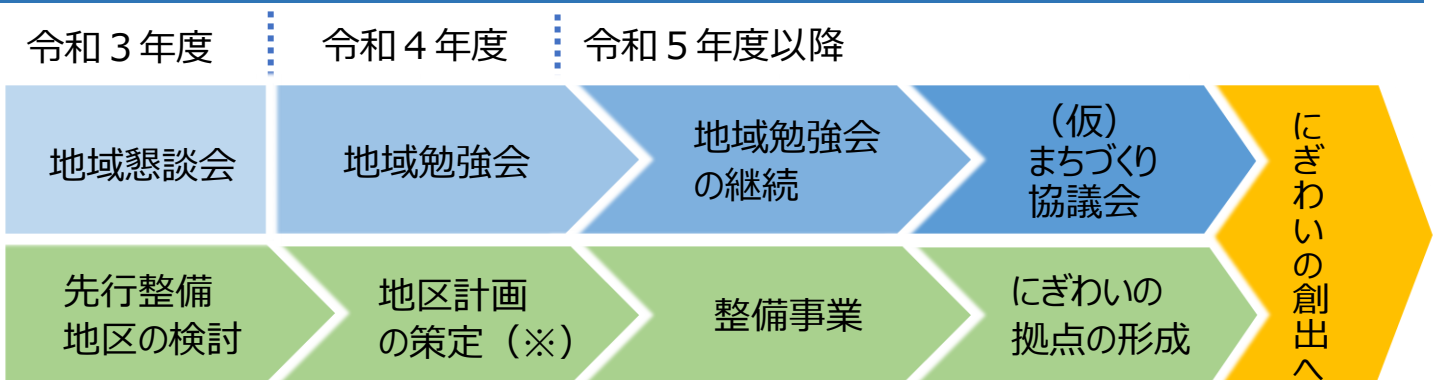
【課題②】 交流・にぎわいのための新たな空間創出

- ・地場産品販売を補完する飲食、カフェなどの機能を付加することで相乗効果が期待できる。
- ・スポーツセンターでは令和5年度に“スポーツに触れ合う一日”としてイベントの開催を予定しており、これを駐車場スペースの活用、スポーツ&グルメイベントなど将来イメージを検証する場として活用してはどうか。

【その他】

- ・勉強会のメンバーとして地場農産品を“つくる”側の参加も大切ではないか。
- ・今後は幅広い市民の意見を聞く機会も作る必要があるのではないか。

3. 魅力創造核のまちづくりについてのスケジュール



※令和5年4月1日付で「地区計画の区域における建築物の制限に関する条例」に追加しました。

★今後も、まちづくりルールの検討状況等は、このニュースでお知らせしていきます。
ご意見ご要望がありましたら、下記までお願いします。

問合せ先：東村山市本町1丁目2番地3 東村山市 まちづくり部 都市計画・住宅課
(電話) 042-393-5111 (内線 3712) (FAX) 042-393-6846
(メール) toshikeikaku@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp